

日本中の男子が憧れたあのアイドルを拉致監禁レイプ



# J○アイドル 拉致監禁レイプ



■ SS付きCG集 (基本CG30枚+α)

Produced by Circle Artman

この娘、名前は彩花。  
某アイドルグループのセンターだ。  
ネットでは「  
「アイドル史上もつともかわいいアイドル」  
と絶賛されている。  
もちろん僕も大ファンだ。  
月並みのセリフだが  
「この娘とセックスできるなら死んでもいい」  
そんな風に思ったこともあった」

そんな娘が、僕の目の前で  
無防備に意識を失っている。



チャンスがあれば合法的に可愛い女の子とマニアなプレイができるようにと、地下室をSM用に整えていった。

数年前、突然の事故で他界した両親の莫大な遺産を、僕は相続することになったのだ。

当時僕は大学生で少し引きこもりがちだったが、莫大な遺産の相続により、大学にも就職にも意味を見いだせなくなり、すぐに大学を中退した。

そして、東京から車で数時間の田舎に広大な敷地を買い、そこに小さな屋敷を建てた。防音の地下室付きで。

彩花の可愛さは衝撃的だった。  
元々趣味もなく、両親が健在の頃からずっと  
TVとネットを見て過ごす毎日だった僕は  
すぐに虜になった。



ネットでも、あらゆる賛辞が並んだ。  
平たく言えば「アイドル史上最も可愛い」だが、  
僕の彩花への思いはそれどころではなかった。  
「人生全てを賭けてもいい」  
そう思った。



金も時間もあつた。  
僕は、イベントスタッフのバイトを続けた。  
彩花に近づけるチャンスを待った。  
また、彩花を攫う計画も練った。  
葛藤しながらも準備を整え、  
チャンスがあれば実行できる状態で  
バイトを続けた。

荷物用のバンを  
イベント会場近く  
常止めていた。  
どのイベントでも  
十分に下調べし、  
即効性の睡眠薬も  
後ほたいミングと  
準備していた。

準備は整っていたが、実行できるチャンスは  
なかなかこなかった。

ついにチャンスは訪れた。  
僕は即効性の睡眠薬を、  
彩花の飲み物に仕込み、  
ライブ後、荷物箱で彩花を連れ去った。  
控室から



とにかく、暴れないようにしな...  
予め準備していた拘束具で動きを封じた。  
可愛らしいアイドルのコスチュームに  
拘束具が食い込む。のペニスが反応し始めた。  
このギャップに僕の

すっかり拘束した後の光景は、  
僕のペニスに激怒させるのに十分だった。  
僕は目の前にガマン汁の湿り気を感じた。  
僕のチンポはこの先もう乾く暇無しだな...  
そんなことを考えていた。

